



TAKEDA
Smile

Web配信 第6号
令和2年12月
武田中学校高等学校
教育後援会・広報委員会

「途上国から世界に通用するブランドを作る」 山口絵理子さん講演会

コロナウイルスにより、生徒の皆さんは休校に始まり行事・大会の中止・延期・縮小と、これまで経験した事のない状況に我慢や悔しい思いをしたと思います。3年に一度の講演会もできないかも！？と考えておりましたが、講師・学校・先生方のご協力により無事開催できました。

本来であれば体育館で講師をお迎えし、保護者の皆さんにもご参加いただきたかったのですが、ZOOMにて各クラスでの視聴・質疑応答となりました。3年前に講師・山口代表の講演をお聞きする機会があり、感銘を受けました！人として・一人の人間として、強い想い・強い志を基にここまでやれるのか！？と無限の可能性を感じました。まだ国連がSDGsに取り組む前から、創業された山口代表の想い方・行動は自然にSDGsを取り組まれており、武田でもSDGs宣言し、日々取り組んでいるので生徒の皆さんの心に響く！と思い、山口代表にお願いしました。

コロナウイルスは世界中に計り知れないダメージを及ぼしております。それでも時は流れ続け、止まってはくれません。どんな状況・環境であっても生徒の皆さんに、この講演会をこれからの将来・人生に少しでもヒントや目標・夢を持てるキッカケにさせていただけたら!!幸いです。

教育後援会 会長 光永 伸也



<山口さんのお話>

- ・失敗はしてもいいと思う。そこから何を学ぶか、その後の行動をどうするかが問題。
- ・時代に合わせてしなやかに変化させる必要がある。その時に一番大切なことはブレてはいけない。
- ・いつでも正直に本音で。言葉よりも行動を。というのを心がけてきた。
- ・どこで働くかよりも、どういう人間になりたいのか



コロナ禍ではありましたが、10月12日(月)に、オンラインでの実施という形で講演会が開催されました。講師・山口さんは東京から、生徒たちは各クラスでZOOMを使って視聴する形で行われました。

講演の終盤には、かなり長く質疑応答の時間が設けられ生徒たちは様々な質問を投げかけていましたが、山口さんは、ひとつひとつ言葉を選びながら丁寧に答えてくれていました。多感な学生たちの多岐にわたる質問でしたが自分が高校生生の時に抱いていた思いなども交え、とても分かりやすく話されていたのが印象的でした。

<生徒たちの質問>

・両親はどういう育て方でしたか？

→自分で責任をとれる範囲内でやりなさいという方針。
他人に迷惑をかけない中での挑戦。

・進路で悩んでいるのですが、、

→具体的な学校や会社で選ぶのではなく、今自分が感じている違和感(問題意識)を大切に考えていくのもいいのではないかと。

・受験を控える三年生全員にエールを！

→今世の中が大変な状況、皆さんも困難な状態だと思う。自分に何が出来るか、どうなりたいかを考えてほしい。必要とされているところが必ずある。



<講演会を終えて>

生徒たちは、講演会を終えての感想を書いています。

- ・様々な講演を受けた中で一番心に刺さりました。
- ・あきらめないことの大切さを改めて感じました。
- ・私も現在の社会に対して疑問や違和感を覚えることがあります。何かしたくても何もできないのが悔しかったのですが強い意思と行動力があれば何でも出来るのではないかと思います。
- ・夢を決めてからスキルを身につければ良いという言葉がとて響きました。
- ・様々な体験をされた人の話を聞いて自分にも勇気が出ました。

素敵な講演を聴けて、ひとりひとりが色々なことを考える機会になったようです。開催できて本当に良かったと思いました。



MOTHERHOUSE ホームページより
<https://www.mother-house.jp/>

山口さんはYouTubeをされていて、
いろいろな事がアップされています。
そちらもご覧ください。

MOTHERHOUSE 山口絵理子CHANNEL
<https://www.youtube.com/user/matrighor>



文化系クラブステージ発表会 2020.9.4, 9.5開催

毎年、私達保護者も楽しみにしている武田祭が新型コロナウイルスの影響で中止となりましたが、生徒からの強い要望で文化系クラブステージ発表会(吹奏楽部・フラダンス同好会・ダンス部)が校内行事として開催となりました。

体育館内での鑑賞で密を避けるため、9月3日(木)は中学生と高校2年生、9月4日(金)は高校1年生と高校3年生と2日間で開催されました。文化系クラブステージ発表会を取材しましたので、ご紹介します。

竹村校長先生からのコメント

今年度、校内・校外を含めて生徒たちの活動がことごとく実施できなくなりました。体育系のクラブに関しては、その後いくつか試合や大会が開かれましたが、文科系クラブの方はほとんど中止の状態だったものですから、せめて校内で活動を発表する機会を設けてほしいという生徒からの要望が出て、それに応える形でこの行事が計画されました。3密を考慮したので2日に分けての連日実施となり、クラブの生徒たちには大変だったと思いますが、観客の生徒たちも楽しんでいる様子で、少し気分転換になったかなと思います。

教員も皆色々な行事が実施できず心を痛めておりましたので、学校全体で楽しめるそんなことができてよかったです。

生徒会長からのコメント

武田祭がコロナの影響で実施出来なくて、3年生の最後の挨拶など今回の発表会で出来なかったのは残念でしたが、3年生も盛り上がっていたので嬉しかったです。

実施して良かったです。ありがとうございました。



コロナ対策のため、窓を開けていました。1日目は、風が強くてカーテン押さえが大変でした。

吹奏楽部、フラダンス同好会、ダンス部のステージ発表を観させてもらいましたが、どの部の子供たちもとても楽しそうで笑顔が印象的でした。

ステージを観ている子供たちも手拍子やペンライトで楽しく観覧していたように思います。新型コロナウイルスの影響で、学校行事が中止になったり、部活動が充分でできなかったり、大会に行けなかったりする中で、このステージ発表が出来たことは子供たちにとってとても良かったと思います！ステキなステージ発表をありがとうございました！

(高1保護者 北條)

吹奏楽部

吹奏楽部 山之上部長からのコメント

今年は、武田祭がなかったため、学校で演奏する機会がなかったのですが最後に演奏出来たので良かったと思います。

また後日、黒瀬で演奏会を開催しますが、学校での演奏はアットホーム感があって楽しかったです。新入部員を迎えて満足のいく演奏が出来たと思います。ありがとうございました。



今年は、新型コロナウイルスの影響により学校行事が中止となり私達保護者もとても残念な思いでした。今回、このような発表の場を企画していただき感謝しています。保護者の鑑賞は限られた方のみでしたが、とても楽しんでいる様子を見て本当に嬉しかったです。貴重な時間を作っていただきましてありがとうございました。また、インタビューにご協力いただきましてありがとうございました。(高1保護者 矢吹)

フラダンス同好会



フラダンス同好会 大村部長からのコメント

この日のためにいっぱい練習して立ち位置などを考えてこの日のために頑張ってきたこともたくさんあったので、うまく出来て達成感でいっぱいです。ありがとうございました。

このような中、生徒の発表の場を作ってください学校には本当に感謝しております。

ハワイ語でありがとうはMAHALO マハロです。踊らせていただけることにありがとうございますと感謝の気持ちをいつも持ってステージに上がることを小さい頃から言ってきました。それを今部員たちに伝承していています。部長としてみんなが輝く構成を試験中も考えていました。

見上げてごらん夜の星は娘の大切な曲でもありコロナ禍の今だからこそと提案して見てくださる方それぞれの心に響いていたら良いと思います。部員全員にハグしたい気持ちでいっぱいです。

武田にフラ部があることが広く認知されて、フラ、中高一貫、フラ甲子園、広島で検索して武田中高等学校と出てくる位に活動を広めて行って欲しいです。

昨年新人賞をいただいたフラガールズ甲子園は中止になりましたが11/25にフラガールズ甲子園オンラインフェスティバルがあります。エントリーしていますのでぜひご覧になって応援お願いいたします。

いつも武田フラガールズたちを応援し支えてくださっている全ての皆様に感謝。 (高2保護者 大村)

今年は、コロナウイルスにより学校生活、また私生活においても影響があったと思います。

今回の文化部クラブ発表会 についても今までとは違ったコロナ対策が実施されたうえでの開催でした。正直なところ生徒達の精神的な面においても心配をしておりましたが、

ステージでのマイクパフォーマンスはアフレコで、見ている生徒達は出来るだけジェスチャー等で表現したりして、今できる事を発見し柔軟な対応で楽しんでいる様でした。

この経験を活かして成長し、将来の良い思い出作りに出来るよう期待しています。

素晴らしい演技ありがとうございました。

(高2保護者 藤原)

ダンス部



ダンス部 池田部長からのコメント

ダンス部は6月に全国につながる大会があって今年で出場が3年目でした。

今年は大会の雰囲気も分かってきて、大阪での全国大会をめざして基礎練を着実に積み重ねて頑張っていたのですが、コロナで出場できなくなり、武田祭もなくなり1年間の主なメインイベントがなくなってショックだったけどたくさんの先生方のご尽力のお陰で2日間こういう場を作っていただいて私達も最後に披露する場が出来て引退出来てとても嬉しいです。

支えてくれた後輩や先輩、先生方にすごく感謝しています。

ありがとうございました。



中学・高校6年間、同好会から立ち上げて部員が辞めていく中、一人頑張っていました。

最後に部長をやらせていただいて、このようなコロナ禍の中で思うような練習や大会に出場できなくなってとても悔しがっていましたが、学校側の配慮でこのような卒業公演の機会を作っていただき、演技が出来たことをとても喜んでます。

今回、出場したダンス部、吹奏楽部、フラダンス同好会の皆さんもこれから前に進んで頑張ってくださいと願っております。ありがとうございました。 (高3保護者 池田)

◆部活動の窓 その5 武田高校野球部◆

We are the zebras family 2020



2020夏。今年も猛暑でとても暑い夏でした。その暑さに負けないくらい、武田高等学校も熱くなりました！
武田高校野球部は、令和2年夏季広島県高等学校野球大会において、見事3位という成績をおさめました。
昨年に引き続き、各メディアに取り上げられている武田高校野球部。注目されることによるプレッシャーを感じさせず勝ち進む姿。たくさんの感動をいただきました。



特別な夏大会を終えて

武田高校野球部 保護者 中久保 勇

コロナ禍で早々に甲子園大会の中止が決まり、県大会開催も危ぶまれた中で、県独自大会という形で大会を開催していただけことは、保護者にとってもありがたかったです。

学校のブログでご存じだとは思いますが、3位という結果を残しました。

印象に残ったのは、準決勝の試合終了後、誰一人選手が泣いていないことでした。

この大会の観戦は、3年生の保護者に限り入場が許可されていたので、私は観戦できないZebrasファンの方へTwitterで試合経過を配信させていただきました。

そこで感じたのは、本当にZebrasは全国から応援されているなあと、「いいね」の数でひしひしと感じました。

各種メディアに取り上げられ特集記事にもなり、注目を浴びているZebrasですが、最初の種は、間違いなく岡崎監督のブログでの発信だと思います。

理念をかかげ、それに対しての日々の挑戦を綴られた嘘のない情報発信こそが、読んだ人の心を揺さぶり興味を沸かせたのだと思います。

ブログを読んで親も息子も武田なら野球も勉強もできると確信して入学し、こうして野球を心から楽しむことができました。そして上のステージでも野球をする決心ができました。

上でやると決めているので、広商に負けても泣かなかったんだと、思います。

2年5か月という短い期間の高校野球でしたが、親も学んだものは多かったです。

野球部の活動を理解し応援していただいた学校関係者の方々、保護者の方々には、感謝しかありません。本当にありがとうございました。

息子たちには、残りの高校生活をしっかり目標に向かって日々を大切にしたいと思っています。



高校3年生の皆さん、おつかれ様でした。
皆さんにとって、この夏はとても思い出深い夏となったことと思います。

今後は、自分の将来に向かって、この野球部で培ったものを心の糧として、力強く進んで下さい。

応援しています。

編集者H





武田で「SDGs」!!



武田で「SDGs」!!その3

<SDGs研究会が発足しました！>



SDGsの取り組みについては、TSSの取材がありその様子は当日夕方のTSSプライムニュースで放送されました。

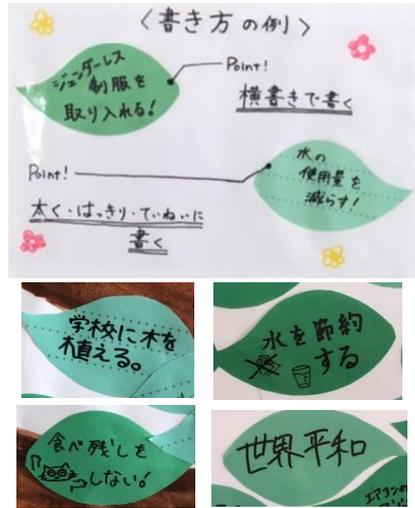


今年度4月、武田にSDGs研究会が誕生しました。休校中も含め、現在9ヵ月目。休校中に行った小学生へのオンライン講座、SDGsに関わる取り組みたいことを全校生徒に書いてもらう「SDGsの木」、裏が白い紙をノートにして再利用する「紙貯金プロジェクト」など…日々新しいことに挑戦し、既に様々なプロジェクトが動いています。

11月2日には、本校で県内の先生方をお迎えして「ICT×SDGs公開研究会」が行われましたが、その中の「SDGsの取り組みとその成果」をテーマとする全体会で、研究会のメンバー2人が研究会について紹介しました。

研究会発足の経緯、これまでの活動の様子、これからの活動予定など…写真を多く使い、わかりやすくまとめられたプレゼンテーションに、会場の先生方からたくさんのお褒めの言葉をいただきました。

<SDGsの木>



SDGs研究会全員で設置、管理しました。まずは全校生徒のSDGsに対する意識を変えていきたい！



葉には「学校に木を植える」「食堂の食べ残しを無くそう!」のように学校に関する意見や、「移動する時は教室のエアコン・電気を消す」「植物由来の商品や紙パッケージの商品を買う」など普段の生活の中で1人1人が主体的に取り組めることなどが多く書かれていました。



葉に書いてポストイン



生徒だけでなく、先生方にも今、自分がSDGs達成のために出来ることを具体的に考えてもらいその中でSDGsについてもっと深く知ってもらいたい！

編集後記

第6号を発行しました。コロナ禍の中で教育後援会広報委員から発信できる企画を検討して皆様にご紹介しました。皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。(編集者Y)